

形 式：

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Multi-institutional melanoma lymphatic mapping experience: the prognostic value of sentinel lymph node status in 612 stage I or II melanoma patients	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ12-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（IV）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Clin Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	17	
	号	3	
	ページ	976-83	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1999	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Gershenwald, J. E.	MD Anderson Cancer Center
その他著者 1		Thompson, W.	
その他著者 2		Mansfield, P. F	
その他著者 3		Essner, R.	
その他著者 4		Lee, J. E.	
その他著者 5		Colome, M. I.	
その他著者 6		Lee, J. J.	
その他著者 7		Balch, C. M.	
その他著者 8		Reintgen, D. S.	
その他著者 9		Ross, M. I.	
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	Stage I, II メラノーマにおける SLN 転移の予後因子としての重要性を明らかにする	
	研究デザイン	遡及的記述研究	
	セッティング	MD Anderson Cancer Center	
	対象者	臨床的にリンパ節転移のない原発性黒色腫患者	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	無病生存期間	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2	疾患特異的生存期間	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	580 例の SLNB で転移陽性は 85 例（15%）、陰性は 495 例（85%）。SLN の転移の有無は性別、腫瘍の厚さ、部位、Clark レベルのなかで無病生存期間および疾患特異的生存期間の最も重要な予後因子であった。	
	結論	SLNB は郭清の適応の決定と、ハイリスク患者の同定に極めて有用である。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	高田 実	
	レビューワーコメント		